

かわらばん

第55号 2024年4月13日



投稿1 死刑廃止・死刑執行停止を願って——小泉龍司法務大臣への手紙……渡辺真知子
投稿2 核兵器禁止条約の批准に向けて高らかに声をあげよう……林 克行
誰も知らない恐ろしい話——袴田再審公判傍聴記……角田由紀子
メールで読書会7 斎藤真理子 著『韓国文学の中心にあるもの』……丹羽雅代/村山千津子
CINEMA 「こんなふう生きていけたなら」——「Perfect Days」を観て……角田由紀子
コラム 『ピカドン』と丸木俊……村山千津子
短信：一票で変える女たちの会FBから

*記事中の URL、一部の写真は、出典サイトとリンクされています。クリックするとリンク先が開きます。

投稿1 死刑廃止・死刑執行停止を願って

——小泉龍司法務大臣への手紙

渡辺真知子

日本では法務大臣が死刑執行命令書に署名すると死刑が執行されます。死刑廃止、死刑執行停止を願う私は、中学の同期生である小泉法務大臣に、命令書に署名しないでほしい旨の手紙を送りました。

……
小泉龍司先生

小泉先生におかれましては、六期にわたり衆議院議員として、現在は法務大臣としての重責を担われ、心を尽くしてこられたことに心より感謝申し上げます。

私は新宿区立西戸山中学を一九六八年に卒業した、同期生の渡辺真知子（旧姓 近藤）と申します。

私事で恐縮です。

私の弟は、小泉先生と同じ戸山高校、東京大学に進み、卒業後

は放送局でTV番組を制作していましたが、四〇代で自死しました。弟の死を契機に私はキリスト者となり、日本聖書神学校に入学生、卒業後は弱い立場にいる方たち（障害者等）を支える働きについてまいりました（他界した父は、難病で失明し、視力障害者としての後半生を送りました）。

現在私は宗教者として、死刑廃止を心より祈り願っています。刑事訴訟法第四七五条によれば、「死刑の執行は、法務大臣の命令による」と規定されています。

小泉龍司先生におかれましては、何卒死刑執行命令書への署名を思い留まっていたくださいますように、心よりお願いをさせていただきます。

死刑の廃止は世界の趨勢です。

二〇二二年七月時点で、世界一九五カ国のうち、七割は死刑を

廃止または停止しており、実際に死刑を執行しているのは五カ国のみです。

OECD三八カ国の内、死刑制度があるのは米国・韓国・日本のみで、米国では半分以上の州で廃止または停止されており、韓国は一九九七年を最後に死刑を執行していません。いわゆる先進国の中で、国として死刑制度を維持しているのは日本だけです。国連、EUは日本に対して死刑廃止を勧告しています。

本年二月二十九日には、死刑制度のあり方を検討する「日本の死刑制度について考える懇話会」が設置されました。事務局は、死刑制度反対の立場の日弁連が務め、死刑制度の今後の方向性について今秋にも提言を取りまとめる予定です。

懇話会の座長は井田良中央大学大学院教授、林真琴前検事総長、中本和洋元日弁連会長、交通事故被害者遺族の片山徒有さんらが委員に就任しています。

最後に今一度、死刑執行命令書への署名を思い留まっていただ

きますように、心よりお願い申し上げます。

二〇二四年三月二日

渡辺真知子

投稿2 核兵器禁止条約の批准に向けて高らかに声をあげよう



プーチンがウクライナ侵略戦争

でNATO陣営に向け「戦略核を配備した」と恫喝・威嚇を強めているのに対し、「抑止力」を持つために核武装しなければならぬという声が聞こえてきます。思い起こせば、沖縄「核隠し」返還の密使として日本と交渉した大物フィクサーの故キッシンジャーは、日本に核武装を勧めたと言われていますが、それがいま現実味を帯びてきています。

そもそも、化学兵器や生物兵器禁止条約が締結されているというのに、人類に計り知れない惨禍をもたらす極めつきの非人道的兵器

林 克行

である核兵器が「抑止力」の名のもとに容認されてよいのでしょうか。

故シラク仏大統領は、「死活的国益保護のため核抑止力が必要」と述べましたが、これではどの国家も核を持たなければならぬという馬鹿げたことになり、核保有国の既得権保持の詭弁にすぎません。

二〇一七年七月七日、核兵器禁止条約が国連総会で採択され二〇二一年に発効し、現在、七〇カ国が批准し九三カ国が署名して、発展しつつあります。ところが、岸田政権はアメリカの言う

なりで、署名・批准を拒否するのみならず、国連総会での禁止条約促進決議案に六年連続で反対している始末です。唯一の被爆国日本のこの体たらくは、多くの批准国に呆れられ、蔑まれていきます。

日本は、日米原子力協定で原発から出るプルトニウムの再処理を認められており（韓国は認められていない）、それから核兵器を製造することは容易と言われています。日本も核武装すべきの声が喧伝されてくる気配があります。

アメリカにけしかけられて、台湾をめぐる対中国の臨戦態勢にのめり込む岸田政権を断固として退陣させ、核兵器禁止条約の批准に向けて高らかに声を上げていこうではありませんか。

(三月五日)

誰も知らない恐ろしい話

袴田再審公判傍聴記

角田由紀子（弁護士）

異常にきびしい傍聴規制

二〇二四年二月一五日、袴田再審公判の傍聴券を求めて並んだところ、奇跡的に当選。初めて傍聴できた。

静岡地裁刑事一部。公判は一時開始だが、整理券の受付は八時四〇分から九時一〇分までなので、沼津に在住している私は娘と二人で朝七時一八分の東海道線に乗った。八時半ころ地裁に着くともう列ができていた。整理券の受付で、リストバンド方式で番号入りの紙の整理券を腕に巻いてもらい、待つこと一時間余、当選番号が九時四五分に発表された。リストバンドには「当選番号であつても取り外した場合は無効です」と印刷されていた。他の裁判所のよ

うに「譲り合い」はできない仕組み。第一回公判の時は、娘と二人で並んでどちらかが当たればと思っていたが、この新しい方式の前に目論見は外れた。もつとも、二人とも外れたが。今回もどうせハズレと思つて外れた場合の静岡での行先も考えていたのだが、私だけ当選した。傍聴券はこれもりストバンド方式で指定席番号が付いた青色のリストバンドを巻いてもらった。

一〇時半には法廷のある二階で次の「手続き」に並んだ。筆記用具と貴重品以外はすべて係員に預けるのだ。私は運悪く治らない咳の状態だったので、のど飴とペックトボトルのお茶の持ち込みをお願いしたが「法廷では飲食禁止です」とにべもなく拒否されて、傍聴中

にとまらない咳で他の方に迷惑をかけてしまった。さて、貴重品（私の場合とりあえず財布のみ、あとで考えたら鍵だって健康保険証だって貴重品ではないかとおもつたりした）を手に持つてその他のものはプラスチックかごに入れて預け、引き換えの番号札を受け取った。それから法廷の前にいる職員の前一人ずつ進んで、両手をあげて前後左右を金属探知機で入念に検査された。手帳に備え付けのボールペンが反応し、手帳を開けて確認を受けた。腕時計も律儀に反応し音を立てたので「腕時計です」と袖をまくつて見せた。

それからいよいよ法廷への入場。席は傍聴券に表示されている席へ。私の番号は〇一〇四で最前列の左から四人目。傍聴席の半分ほどは報道機関用なので一般用は二八席と聞いた。狭い傍聴席なのに、最前列の左右の端には警務官（グレイの制服着用）が端の傍聴人に鼻突き合せんばかりの距離で座つて傍聴人の動静を終始監視。いかにも傍聴人の中には凶悪者が混じっていることが前提とされて

いるかのよう。これから傍聴する事件は五〇年前の「放火殺人事件」ではあるが、被告人はご存じの理由で出廷がかなわず、傍聴人に関係者がいるはずもない。いわんや昔の「公安事件」でもない。

裁判所は何を恐れているのか？ほとんど監視されながらの傍聴開始となった。一言でも発言でもしようものなら、そういう「勇敢な」人はもちろんいなかったが、座席番号で直ちに特定しつまみ出すことができるようになっていた。私は恐る恐る頻発する咳と闘った。苦しくて息が止まりそうだった。さて、法廷の左右の壁（検察官席と弁護人席の頭上）にはモニターが設置されており、この日は検察官が文献を多用していたので、傍聴席からは読めない小さな字が多数映し出されていた。一列目の弁護人席、検察官席、裁判官席には個別にモニターが配置されており、あの壁のモニターはご親切にも傍聴人用？そもそも、静岡地裁の二〇二号法廷を使用するのは（もつと大きい法廷はある）モニターがあるのはこの法廷だけか

らと聞いている。席数を犠牲にしても選択された二〇二号法廷であるが、モニターは役に立っていない。不思議な判断！合理的な理由をつけてできれば小さい法廷にしたかった？

昼休みと午後の休憩時間には法廷から出るようになっており、再入場には初めの荷物を預けて身体検査を受けての手続きを繰り返した。

最近の裁判所が傍聴に関して極端に神経質になっており、傍聴人性悪説にどっぷりつかっていることは、私自身が、安保法制違憲訴訟で東京地裁、東京高裁で何回も経験済みだ。東京高裁ではNO W A Rと書いたTシャツを着た傍聴人の入場が拒否されたし、東京地裁では裁判官と議論を続けようとして法廷に少しの時間座っていたら、「暴徒」扱ひされた。裁判官が帰ってしまい、議論を続けられないのであきらめて法廷から引き揚げようとしたら廊下には総動員されたらしい職員が詰めており、なんと丸の内署から呼んだらしい警棒を持った制服警察官が闊

歩していたこともあった。どうもごぼう抜きのつもりだったので。これは安保法制女の会の事件で、法廷にいた傍聴人の大部分は高齢女性だったというのに。別の東京高裁の法廷では、裁判官が入廷すると傍聴人が一齐に上着を脱いで「主権者国民は棄却を認めない」のTシャツを見せたとか。怒った裁判長は判決言い渡しだったのに引つ込んでしまつて、言い渡しが遅れたとか（これは伝聞）。

東京地・高裁は入口に金属探知機が設置されているのでナイフ等は見つけ出すことができるが、スマホその他は身に着けることができている。できていて当たり前だが。

傍聴は国民の権利

裁判長は法廷の運営について権限を持つているにしても、袴田再審公判法廷で起きていることはその権限を越えているのではないか。法廷入り口で金属探知機を使っていた職員は、荷物をいったん預けている傍聴人に重ねて「通

信機器はもっていませんか」と尋ねていた。持っていたとして傍聴人が外部にどんな秘密通信をするというのか？

今までも傍聴人への規制について支援者らは抗議をしてきたとのことであったが、もちろん無視されたままだ。

裁判長は一体何をそんなに恐れているのか。傍聴は憲法の公開の法廷の権利に付随する国民の権利のはずだ。袴田再審公判にはどんな不穏の動きの心配があるのか？全国から、海外からもらしい、注目されている法廷であることはその通りだが、だからと言って傍聴人を過度に規制する権限はないはず。根拠を説明してもらいたい。

最後にひとこと。この異常な傍聴人規制は自分が傍聴人になって初めて知った。毎回の公判を報じるメディアは誰も一言もこのことに触れてきていない。運よく抽選に当たらなかつたら私も知らないままであった。私は、一五日の法廷後の弁護団の報告集会兼記者会見の席でこのことを話した。メ

ディアの誰も何の関心も示さなかつたことも、特筆すべきことだ。初めて傍聴した人はこれが異常だとは知る由もないのかもしれない。

裁判のIT化が急速に進む中で傍聴そのものが危うくなってきていることと合わせて静岡地裁で起きていることを知ってほしい。まるで「裁判所の言うとおりにしますので傍聴させていただきませんか」と懇願する者だけに傍聴を許すと言わんばかりだ。このようにして裁判に関する私たちの権利は奪い取られていつているのではないか。

（二月一七日）

なお、弁護団では二月二五日に私の指摘等も含めて法廷運営の改善を申し入れた。裁判所の回答は「適切に運営されている」という趣旨であったと聞く。

後に聞いたところでは、袴田事件開廷日に予定されている民事事件等へ出頭する代理人は事前の届け出が求められているとのことであった。（四月六日）

斎藤真理子 著

『韓国文学の中心にあるもの』



book club by email 7

知っていたつもり韓国に、ほとんど手も触れてもいなかったことにきづかせてくれた



丹羽雅代

韓国の主に女性が書いた小説の多くは、手にしてみるとあつという間に時を忘れる。でも、それってまだ本当に最近のことだ。

一九六一年の朴正熙によるクー



イースト・プレス、2022年

データ以後、軍事独裁が続いたお隣の国が気になって仕方がなかった。金大中氏が七三年に東京のホテルから拉致され五日後にソウルの自宅に戻っていたことも、KCIAがすべての実行犯だったことも、七六年前後には何人もの在日朝鮮人大学生が留学したと思う間もなく逮捕されて、死刑判決を受けたなどということも知っていた。抗議集会やデモに何度も参加したり、支援で死刑囚の人たちにクリスマスカードを送ることも毎年やっていた。でもその気持ちはなかなか他者と共有できるものではない。

転職して時間ができたときに、気になる朝鮮語を学び始めた。市民運動の中から始まった教室だったからしよっちゅう脱線はする

し、議論沸騰でここが何の場所だったかわからなくなることも。強力な活動家の先輩も多く面白い。在日二世の先生も日本語の議論について乗ってしまったり。実力にはつながらないけれど、身を乗り出すような過ごし方がいつものことだった。雑誌「世界」（韓国からの通信・TK生）はもちろんその重要な情報源。

一年余りが経ったとき、女ばかり三人で、韓国に行こうと決めた。一九八〇年だからもちろんVIZAが必要だったけれど、七九年朴正熙射殺という大事件により「ソウルの春」とよばれ、一気に民主化が進むと誰もが期待していた最中だった。

あつという間に全斗煥によるクーデターで、軍事独裁復活、戒厳令はしかれたまま。五月には、光州事件が起きたとは知っていたが、市民・学生たちの民主化を求める運動の声は日本社会でもしつかり広がっていたし、VIZAはすぐ取れた。飛行機はいやだというので、関釜連絡船で釜山に向かうと予定を変え、観光情報やソウ

ルYWCA等を通しての宿泊情報も入手、初めての訪韓に心躍った。お定まりの美しい観光地や市場巡り。どこにも全く漢字表記がなかったが（これも政策だった）ハングルの読める私たちは少々得意だった。安上がりの長距離バスでは旅行中の大学生がたくさんいて、片言の韓国語や英語で限られた中身のおしゃべりを楽しんだ。彼らの今の気持ちを聞いてみたいとちらりとは思ってもできるものではない。検問も多く、身分証がない人はバスをおろされた。ホテルの窓から見ていると、夜一〇時直前まではすごい人波が、短いサイレンと同時にあつという間に完全に消えた。戒厳令下にあるとはこういうことかと思っただけれど、一週間は刺激的でひたすら楽しく瞬く間だった。

それから以後度々韓国に行ってきた。大事な会議に出ることも何度もあった。共和国にも数回。歩いて南北の境界線を越える得難い経験もした。

それなりによく知っている気に

なっていた韓国に、実はほとんど手も触れていなかったと教えてくれたのが、『韓国文学の中心にあるもの』の、十分な実感に裏付けされた主張と、紹介されている物語たちだ。

著者の斎藤真理子さんは韓国語の翻訳家。ずいぶんたくさんの詩や物語の翻訳、中でもフェミニズムやクイア関連なども多く出しているが、この本は、彼女が二〇一四年に商業翻訳を始めたころから「韓国の今」について話したり書いたりしたものを中心にまとめた、翻訳本ではない初の著書ということだ。

予測不可能な様々な現実を次々に受け止めて、韓国の変化のスピードはすさまじく速い。市民運動が大きな役割を果たしている。それに比べると日本は、とつい言いたくなってしまうが、そのような比較や相対化は無意味だ。日本の関わり方それ自体が朝鮮半島のこれまでの歴史と現在に直接積み重なる。

私自身を振り返っても、日本の歴史が今の自分の現在に直結して

いるという自覚がない。家族の歴史はくつきりと三代くらいはさかのぼれるが、それが国の一〇〇年の歴史の中にどう位置づくのかも、難しい。それはもしかしたら私たち一般市民たちはいつも被害を受ける側で、流れを作っているのは自分とは全く縁のない存在だと無意識に思っているからではないか。

光州民衆抗争も、セウォル号事件も、その余波はとても長く続いた。余波などと言えるものではない。人々が空気を作り場を作っている。

やつと、歴史と人々と今がとても強くつながっているのだと思えるようになるまでが遠かった。何がこんなにも隣の国と違わせてしまったのか、頭を抱える。そこに文学は大きな役割を果たしてきたし、これからもそうに違いないということははっきりしている。

まず今読み返そうと思っているのは、茨城のり子さんのことを書いた『隣の国のことばですもの』(金智英、筑摩書房)、『四人

の』(キム・ジョン、ファンギョ)、『黄皙暎自伝』I・II(明石書店)

二巻の長いもの)。少しはピンとくるものが増えるだろうか。

(四月四日)

文学と歴史と日韓関係



村山千津子

二〇一八年に日本で翻訳出版された韓国の小説『82年生まれ、キム・ジョン』(チョ・ナムジュ著)は大きな話題になり多くの読者を獲得した。韓国の文学にほとんど馴染みのなかった私も手に取り読んでみたが、日本と同じように家長制社会の中で呻吟する現代の女性の苦しみを描き出す手法として、主人公を個性ある個人としてではなく顔のない女性の集合体のように設定し、その彼女の怒りが沸点に達したときに、言いたいことを言えなかった女性、例えば実母に憑依されて本音をぶつけるという大胆で斬新な展開に驚いた。フェミニズムの理論をいくつも掲げる以上に、女性に訴えかけるこ

とのできる小説の力というものに圧倒されたのである。

『キム・ジョン』の翻訳者である斎藤真理子さんが、今回は翻訳ではなくて、韓国文学を解説することで韓国の激動の歴史と社会の変遷を俯瞰し、さらに複雑に絡み合った日本との関係や日本の問題をも炙り出す本を書き上げた。まえがきでは、現在生活水準がほとんど変わらないであろう日本と韓国とは、「少し近寄って見れば、植民地にされた経験、朝鮮戦争と南北分断、軍事独裁政権による強権支配と、たどってきた歴史は大きく違う」「現在の韓国の文化コソコソに見られる敏捷で聡明な繊細さは、このような重い歴史をくぐり抜けた足腰に支えられているといつてよい。本書では、この足腰部分の解剖図を目指してみた」とある。

悲劇的な歴史は、目次を一読しただけでもうかがえる。「セウォール号以後文学とキャンドル革命」「IMF危機という未曾有の体験」「光州事件は生きている」「分断文学』の代表『広場』」「朝鮮戦争

は韓国文学の背骨である」「『解放空間』を生きた文学者たち」などだが、さらに中身を読み込んでいくと、右翼・反共勢力による虐殺・拷問、「北」による粛清と拉致、パルチザン闘争、一般市民が犠牲となった済州島四・三事件といった出来事が次々と現れる。一九四五年の植民地解放から八〇年近くの歴史の中で、韓国の文学者たちが声を絞り出すようにして世に訴えたさまざまな文学作品が詳細に紹介されていて、引用されているその一部を読んだだけでも非常に興味を惹かれる。

また本の中では歴史的転換となった時代を何度も日本と対比することで、韓国が受忍するしかなくつづきつづきと浮かび上がり、それによってあらためて日本に住む自分自身を省みる体験をさせられるのは、刺激的でもあり苦痛でもあった。

例えば、一九八〇年に起こった光州事件は厳しい報道統制のもとで隠されつづき、一般の市民が全貌を知ったのは一九八七年に民主化宣言が行われた後のことだとい

うが、もし日本で連合赤軍のリンチ殺人事件やオウム真理教の地下鉄サリン事件といった大事件が報道されず、七年後いきなり真相が明らかになったとしたらどうか、考えてみてほしいと斎藤さんは書いています。

最もページが割かれ強い印象を与える朝鮮戦争の章では、「日本がもし分割されていたら」という節があり、短期間ではあるが一時考案検討された日本の分割占領案が紹介されている。徳川夢声の日記には、「そりやそうと、杉並区は何処の軍が占領するのかな？」の言葉が残されているそうだ。そして東はソ連下に、西は米国支配下に置かれたとして、「例えば志賀直哉と高村光太郎と中野重治と坂口安吾と太宰治と宮本百合子と原民喜と堀田善衛が東で筆を折ったり殺されたりし、井伏鱒二と三好達治と谷崎潤一郎と川端康成と林芙美子と江戸川乱歩と大岡昇平が西に残るといふような事態」、そして「分割後何十年も反対側にいる作家の作品を一切読むことができなくなるといった状

況」を想像すればその深刻さがわかるのではないかと彼女は書く。

日本による植民地支配が終焉し本来なら独立が勝ち取られるはずであったのに、五年後には凄惨な地上戦が始まって、犠牲者数は三〇〇万人とも四〇〇万人ともいわれ、離散家族は約一〇〇〇万人とされる。この朝鮮戦争を日本では多くの人が「特需」という言葉で記憶しているのかと思うと、あまりに恥ずかしい。

最近では韓国文学の翻訳・出版が日本で飛躍的に増加しているという。韓国ドラマや映画、Kポップなどと相まって、韓国の小説や詩が日本人の歴史観を変えるきっかけになるに違いない、この本はそんなことを感じさせてくれた。

(四月八日)



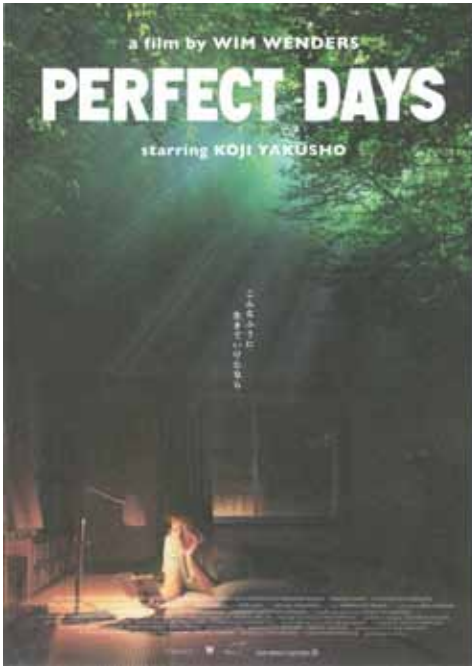
CINEMA

「こんなふう生きていたら」

——「Perfect Days」を観て

角田由紀子

映画「Perfect Days」を見たときに、そして見た後でも強く思ったことは宣伝用チラシに書かれていた言葉であった。「こんなふう生きていけたなら」。こんなふうな生き方というのは、主人公公平山の物欲のなさや静寂の日々である。渋谷区の公衆トイレの専任清掃夫が平山の仕事である。朝、外を掃く竹ぼうぎの音に眼を覚まし、決まった時間に起きて仕事に出かける。朝ごはん替わりはアパートの目の前の自動販売機の缶コーヒーらしい。缶コーヒー一本を持って清掃道具をきちんと積み込んだ家用車で木造アパートを出て職場に行く。何か所かの受け持ちトイレを入念に清掃し、夕方はまた車で木造アパートをめざ



す。そして自転車で銭湯にいき、浅草駅の地下街にあるらしいいっぱい飲み屋でちよつとしたつまみを肴にビールを飲む。家では、部屋の隅にたたんでおいた布団を敷き、文庫本を読みながら眠りにつく。判で押したような毎日の生活が大してセリフもなく繰り返し返されてゆく。その生活の静寂さに心打たれた。

この映画を見て初めて知ったのだが、渋谷区には一七か所もの一流芸術家によるアートな公衆トイレがあることに驚いた。もつとも、それに六億円(?)もの金をかけたことへの批判もあるという。平山の毎日は退屈と言えばこの上な

く退屈な生活である。この映画を勧めた長い付き合いの友人はあんな退屈で動きのない映画には耐えられないとの感想をメールしてきた。彼女とはたいていの好みは一致していたのだが。私は、こういう生活をしたかったのではないかと、なんとそれと真反対の人生を送ってきたという思いが沸き上がり、うろたえた。

私は一九六二年に北九州から上京して大学生になった。当時は地方出身学生は狭い下宿で暮らすのが普通であった。私もそうだった。その生活には最低限必要なものしかない。学生なら寝具のほかは本棚と机くらいだろう。平山の本棚

と小さな整理ダ
ンス以外にはな
い部屋を見て私
は学生時代の四
畳半一間の自分
の生活を思い出
した。
あれから何十
年を経てまあま
あ生活費を稼ぐ
ことになった私

は、物欲まみれの生活に転落した。当時は、多くの日本人と同じくそれは、よいことであり、自分が豊かになったのだとすっかり勘違いをしていた。リタイアしてから収入がなくなり、国民年金もかけてなかったで、物を買うことと縁がなくなり、否応なく質素な生活に転換した。それでもそれまでの果てしない物欲の「成果」の断捨離に頭を悩ますことになった。そこへこの映画である。事前に映画評も目にはしていたが、パソコンもテレビもない畳の部屋での生活は衝撃的であった。風呂も銭湯にいく生活だ。風呂まで個人で所有することになって風呂掃除という仕事が増えた。彼の文化生活はもつぱら一〇〇円の古本の文庫本のような。なんとすつきりした生活だろうか。そうだ、あれだけで生活できるんだと納得した。

いことから必然的に生まれているのではないだろうか。今どきの若者はもちろん高齢者も含めて多くの日本人にはあり得ない、耐えられない生活であろう。しかし、私は自分が何十年もかけて失つてきたものをそこに発見したような気持ちであった。もう、残された人生は何年もない。最後こそ、必須のものだけを所有して密かに暮らしたいのだと熱く思った。あらためて「所有」についても考えてみたい。そんなことを考えている時に好きな哲学者鷲田清一の「所有論」が目について注文してしまった。

なお、この映画の主役・役所広司は二〇二三年の第七六回カンヌ国際映画祭で最優秀男優賞を受けた。日本人としては二人目と大きく報道された。監督は、私の好きなドイツ人、ヴェイム・ヴェンダースである。彼は小津の影響を強く受けているとプログラムの解説にあった。さもありなん。

(四月六日)

『ピカドン』と丸木 俊・・・・・・・・村山千津子

今年1月、東京・神保町の小さな画廊で丸木位里、丸木俊2人の美術展が開催されていた。ふらりと立ち寄ったその場で、原爆の惨状を描いた絵本『ピカドン』を目にして、これは自分の家に昔からあった本だ、と驚いて思わず手に取った。丸木位里・赤松俊子（丸木俊）作、平和を守る会編の初版本はポツダム書店によって1950年8月6日に刊行された。家にあったのは当時発行されたもので、ざら紙が年月を経て赤茶け古び、セロテープで補修してある。こちらに語り掛けるおばあさんの絵が表紙になったこの絵本が小さなころは怖かったことを覚えている。

その絵本の復刻版が昨年8月6日に刊行され、『『ピカドン』とその時代』（原爆の図丸木美術館編）と題した解説本と一緒に2分冊となってその会場で販売されていたのだ。あらためて読み返してみると、原爆投下直後の生々しい惨劇が展開されていて、核兵器がもたらした地獄と恐怖が時代を超えて胸に迫ってくる。ピカでおじいさんに先立たれたヒロシマの三瀧の町のおばあさんは語り続ける。「ピカは山崩れたーあちがう、人が落さじゃ落ちてこん」。最終ページは次のような言葉で締めくくられる。「7月27日 ポツダム宣言が出ました。・・・民主的な政府をつくりなさい、人民の一切の自由をみとめなさいと、・・・教えていました。・・・軍の首脳や政府は、天皇の位だけわどうぞおいて下さいとか、いろいろ連合国と取引をしていました。・・・もし、こんなおそろしいものが8月6日に落ちてくるのがわかっていたら、

日本国中、みんなで、戦争をやめて下さい、と叫んだにちがいませんでした」（原文ママ）。

強烈な印象を与えるこの絵本を描いた丸木俊は、「原爆の図」で高名な丸木夫妻としては知ってはいたものの、丸木俊個人のことについては私はまったく知識がなかった。美術展で販売されていた「伝記を読もう」シリーズ（あかね書房）に取り上げられた彼女の生涯をたどってみると、1912年生まれの子の日本の女性がこれほど広く世界をめぐる、芸術家として活躍してきたのかとただただ感嘆した。

北海道の寺の娘に生まれ、絵が大好きな少女は東京の女子美術専門学校（現在の女子美術大学）へ進学。故郷からの学費が途絶えると似顔絵書きのアルバイトで稼ぎ、人の紹介で家庭教師の仕事を得てモスクワへ赴く。そののちゴーガンが暮らした南の島にあこがれ船でパラオ・コロール島へ向かい半年間滞在。戦後、位里の故郷である被爆直後の広島へ入り、惨状を目の当たりにする。位里との共同制作「原爆の図」は日本だけでなく、ヨーロッパ、アメリカ、中国など世界中で巡回展が開催された。

丸木俊という傑出した“女絵描き”がいたことは私たちに勇気を与えてくれる。女性が芸術家として活躍することなどほとんど考えられなかった時代に道を切り開いてきたこと、勇気をもって世界にヒロシマの真実を伝えた功績、さらに、アウシュビッツ、水俣、沖縄、在日朝鮮人など、虐げられてきた人々の物語を絵によってよみがえらせた仕事はとても貴重なものだと思う。

（3月19日）





短信

一票で変える女たちの会 フェイスブックから

会のFBから抜粋して情報を掲載します。詳しい内容はそれぞれのサイトをご覧ください。太字の見出しまたは写真をクリックするとリンク先に移動します。移動しないとき、印刷版の場合は、見出しなどで検索してください。日付はFB投稿日。新聞等の掲載日は投稿日と異なる場合のみ、見出しの後に記載。

4月8日

「つくろい東京ファンドー東京アンブレラ基金」のXから。小林美穂子さんの本「家なき人のとなりで見る社会」(岩波書店)も必読です。

一般社団法人つくろい東京ファン

ドは、国籍を問わず、生活に困窮している人々の住まいと暮らしを支える活動を展開しています。コロナ禍では難民・仮放免で、住まいを失ってしまった方、住



まいを失いそうな方の相談も増えてきました。当団体の外国人困窮者への支援活動については、TBS「報道特集」でも取材していただきましたので、ご参考にしてください。

4月6日

つくろい東京ファンド、「NPO法人北関東医療相談会」で難民申請中の人や仮放免中の外国人の支援を続ける大澤優真さん(大学講師)のインタビュー。



「苦しめて本国へ帰るようにしているとしたか思えません」：日本政府が「行くあてのない外国人」

に行っている対応の「現実」——現代ビジネス 講談社

「一般社団法人つくろい東京ファン」ド」と「NPO法人北関東医療相談会」のふたつの団体を中心に活動する大澤優真さん(31)は、主に難民申請中や仮放免と言われる、生活に困窮する日本に住む在留資格のない外国人の生活支援をしている。

さまざまな事情で故国にいられず、日本に逃れてきた外国人の難民申請を支援するが、日本の難民認定率は2%。日本政府から「日本にいてはいけない」と言われながら、故国に帰れない外国人は「入管」に收容され、一時的に「入管」を出ることが許されても、「仮放免」といって、仕事をすることも、住んでいる都道府県の外に出ることも許されず、健康保険や生活保護などの社会保障制度も受けられない……

4月5日

スフィア基準、日本では知られてない

スフィア基準ってなに？

- ◆ トイレは20人に1つ以上。
- ◆ 男女別で、男子：女子=1：3！
- ◆ 1人1日最低15リットルの水を使用する。
- ◆ 1人あたり3.5㎡を超える居住空間が必要。

具体的にさまざまな基準がありますが、特に報道などで話題になるのは、被災者の健康に直結する「技術的基準」と言われる箇所。「給水・衛生・衛生促進」「食料の確保と栄養」「シェルター・居住地・ノンフードアイテム(生活道具など食品以外の物品)」「保健活動」の項目があり、そこからさらに細かく、理想的なトイレの数や水の量などの指標があげられています。

『一票で変える女たちの会』かわらばん
★印刷版をご希望の方は左記FAX、メール、ホームページの問合せ欄からご連絡ください。

★投稿大歓迎！

本や映画の紹介、地域での活動報告、選挙や地域の政治の動き、情報、ご意見なんでもお寄せください。

宛先

Email: 1pyodekaeru@gmail.com

郵便: 〒162-0823

東京都新宿区神楽河岸1の1

東京ボランティア・市民活動センター

ターメールボックスNo. 45

FAX: 03-5684-1412

HP: <https://1pyo-de-kaeru.com>

★カンパのお願い

私たちの活動に賛同する皆さん、ぜひカンパを！

郵便振替口座:

記号番号 00110-6-420003

口座名称 一票で変える女たちの会

イッピョウデカエルオンナタチノカイ

銀行等から振り込む場合:

店名(店番) 〇一九(ゼロイチキョウ)

店 (019)

預金種目 当座

口座番号 0420003



……山崎雅弘さんのFBから

4月5日

中村医師はじめスタッフのみなさんの無事を祈ります。



多くの人の命を救うために、あなたの力が必要です。国境なき医師団は世界中どこでも生命の危機に直面している人びとに直接医療が届けられるよう、独立・中立・公平の立場で

医療・人道援助活動を行っています。

4月2日

「政権に擦り寄る」テレビ朝HDにモノ申す 株主提案を目指す前川喜平さんたちが案じる日本メディアの行く末―東京新聞

TOKYO web 3月29日

29日



田中優子・法政大学前総長(72)らが共同代表を務める市民グループ「テレビ輝け!市民

ネットワーク」が、テレビ朝日ホー

ルディングス(HD)の株主総会で

「もの言う株主」になろうとしている。

すでに約50人の賛同者と共にテレビ朝日の株3万株を保有した。「会

社の憲法」とも呼ばれる定款に、政治家などの圧力に報道が屈しないこ

となどを盛り込むことを求めるとい

うが、それはなぜか……

4月2日

「初めて明るいニュース」と赤木さん「不開示の決定を取り消すべき」

との答申 森友文書改ざんで―関西テレビニュース

4月2日

森友学園に関する公文書の改ざんをめぐり財務省が自殺した財務省職員

の妻に対し関係の文書を開示しない決定をしたこと

について、国の審査機関が決定を取

り消すべきとの判断を示しました

……

4月1日

清瀬市。図書館6館を2館に減らすと



いう暴挙。市立4図書館廃止条例改定案可決 東京・清瀬―原田氏「市民の怒り広がる」―しんぶん赤旗「CP

いう暴挙。

市立4図書館廃止条例改定案可決 東京・清瀬―原田氏「市民の怒り広がる」―しんぶん赤旗「CP

TOKYO 3月30日

東京都清瀬市議会(定数20)の第1回定例会最終本会議が28日に開かれ、市立図書館6館のうち4館を廃止することなどを盛り込んだ条例改定案を自民、公明の賛成多数で可決しました。共産、立憲、ネット、無

所属の議員ら9人が継続審査の動議を提出しましたが、否決されました。

条例改定案の内容を知った市民有志が撤回を求める緊急署名運動を展開。「私たちの知らないところで勝手に決めないで」と駅前などで訴えました……

3月31日

sinji kinoshita さんのFBから。

イスラエルのガザ侵攻が留まることのないジェノサイドへ激化。

南京事件など侵略戦争の歴史に詳しい笠原十九司都留文科大名誉教授は、地元地方新聞の山日新聞「時標」で「イスラエルの侵略・加害の論理と、満州侵略と加害の論理には

通底するものがある」と、厳しく指摘。かつて日本が起こした侵略戦争で「燃えカスも残らないほどに徹底的に殺戮、破壊、放火、略奪して、敵地の民衆を生存不可能な状態にせよ」と作戦部隊に命令した(日本軍「熾滅(ジンメツ)掃蕩作戦)」であるとした。世界は、このような事態に対し、いささかの甘い姿勢は許されません。笠原さんは、「憲法9条を持つ国として、ウクライナ問題もパレスチナ問題も非軍事的手段で解決を」と世界に呼びかけています。(3月18日)

3月30日

弁護士福山和人さんのX(ツイッター)原告の高校生「自分の個人情報自衛隊に本人の承諾もなく渡っていることがすごくおかしいと思った」

国・地方・民間を問わず、本人の同意なしに、自治体から就職適齢期の若者の個人情報提供を受けている組織は唯一自衛隊だけです。自衛隊に



国・地方・民間を問わず、本人の同意なしに、自治体から就職適齢期の若者の個人情報提供を受けている組織は唯一自衛隊だけです。自衛隊に

対してどういう立場を取るかに関わりなく、個人情報等は等しく保護されるべきです。「自衛隊に名簿提供は違憲」18歳高校生が奈良地裁に国賠提訴 (asahi.com)

3月30日

東京の中野区議が扇動した結果…法務局が差別投稿49件の削除要請 区議は取材拒否―沖繩タイムス2月23日 朝日新聞デジタル

東京都中野区の吉田康一郎区議がツイッター(現X)上で差別を扇動した結果、フォトジャーナリスト安田菜津紀さんに対する差別投稿が蔓延(まんえん)し、うち49件の削除を東京法務局が運営会社に求めたことが分かった。被害を申告していた安田さんらが21日、都内で記者会見して明らかにした……



3月28日 「フェミニスト経済学」って何だ? 教科書の執筆者に聞いた 女性の「無償労働」無視する主流派を問い直す

東京新聞 TOKYO web

男女の賃金格差が解消しない中、家事や育児などの「ケア労働」を視野の外にしてきた主流派の経済学を問い直し、誰もが生きやすくなる経済の理論を生み出そうとする動きがある。「フェミニスト経済学」と呼ばれ、昨秋、国内で初となる教科書が出版された。執筆者の一人、金井郁琦玉大教授(労働経済論)に聞いた……

3月26日

平野啓一郎さんのXから フランスのメディアも、……/変貌するフランスのジャーナリズム (ル・モンド・ディプロマティーク 日本語版 3月号) の紹介 右傾化するフランスのメディア 変貌するフランスのジャーナリズム



民主主義による自由を守護するはずのフランスのメディアが、政府と呼応して急速に右傾化している。イスラエルへの支持を表明しない政党を指弾し、戦争に反対するデモを行

う人々をテロリスト呼びわりする始末だ。ジャーナリズムが猟犬の群れのようになって反対意見を戦わずすることも表現の自由を主張することも嫌悪する姿は、眼を覆うばかりだ…… 『日本語版編集部』(仏語版24年2月号より)

3月22日

女性も「うるせえな」と怒ったっていい 性別の美学が広げた男女格差―朝日デジタル ジェンダーを考える有料記事 3月5日



女性のみなさん。 女らしく話すと気持ち悪く伝わらないうと感ぜませんか。 多くの女性が当たり前のように使う「女性のことば」がはら

む問題について、昨年『女ことばってなんなのかしら? 『性別の美学』の日本語』(河出新書)を出した翻訳者・平野御子さんに聞きました ……

3月22日

杉田水脈氏に人権侵犯されても



「黙ってるわけにいかない」 多原良子さんが語るアイヌ女性への「複合差別」―東京新聞 TOKYOweb 3月21日

先住民民族であるアイヌ民族に対するヘイトスピーチがやまない。憎悪をおおるような国会議員すらいる。アイヌ民族の中でも女性たちは、民族差別に女性差別が加わる「複合差別」にさらされているとして、20年以上前から国連で訴えてきた。中心になったのがアイヌ民族の多原良子さん(札幌市)。今なお続くヘイトにどう対峙(たいし)すべきなのか。多原さんと先住民族ゆかりの地を巡りながら考えた。(木原育子) ……



3月20日 仁藤夢乃さんのFBから #Colabo 能登被災地支援『#夜の街から』 Vol.37: 行政

からの支援も減り、先が見えず「見捨てられ感」を持っている被災地の方々の状況
報告動画

3月20日

日本初のWomens即興音楽のフェス、15人の女性たちが演奏するFEM(フリル)の応援プロジェクト

ジャズ、ロック、邦楽やクラシック…さまざまな音楽分野が交錯し新しい世界を創る即興演奏。女性だけのインプロフェスは日本初の試み。世界で活躍する日本の女性ミュージシャンの刺激的なパフォーマンスで音楽シーンを圧倒したい！ 4月6日に、女性15人でFEM(フリル) festival! 16:30から 会場: 秋葉原 CLUB GOODMAN

3月14日

同性婚を認めない規定は「違憲」
札幌高裁判決 初めての高裁判断—
朝日新聞デジタル ジェンダーを考
える

同性婚を認めていない民法などの規定は憲法に違反するとして、北海道内の同性カップル3組が国を訴えた訴訟の控訴審判決が14日、札幌高裁(斎藤清文裁判長)であった。判決は、規定は「婚姻の自由」を定めた憲法24条1項などに反して「違憲」と判断し、同項は「同性婚をも保障すると解される」とした……

3月8日

「女性器を切らないで」自分が苦しんだ伝統から娘を守る母の戦い 変わりゆく儀式へ初の潜入取材 #性のギモン(伊藤詩織) — Yahoo ニュースドキュメンタリー

女性器切除—アフリカや中東の国々を中心に、女性器を切除する古くからの慣習がある。FGMと呼ばれる、世界で2億人の女性が経験しているといわれる一種の通過儀礼だ。

命の危険も伴う人権侵害としてユニセフ(国連児童基金)が根絶をめざし、英国では法整備を進め、近年、娘に受けさせた母



親が有罪判決を受けた。こうした国際社会からの批判を受け、女性の90パーセントがFGMを経験するとされる西アフリカのシエラレオネでは、「イエローボンド」と呼ばれる「切らないFGM儀式」が広がりつつある。これまで撮影は許されてこ

なかったが、私自身がその儀式を受けることを条件に、FGMに反対する母娘への同行取材が認められた……

3月7日

公民権活動家、市民活動家でもあったアフロアメリカンのジャズ歌手ニナ・シモン。1965年のライブから



"Four Women" by Nina Simone - Live in Europe, 1965

3月5日

3月8日、国際女性デーによせて、フラワーデモが熱いメッセージ。2024年3月国際女性デーに寄せ

★読者のみなさまへ★

一票で変える女たちの会では、「かわらばん」発行のお知らせや投稿募集、憲法集会などの情報を不定期に配信専用のメーリングリスト(ML:1votewoman@mio-minmio.sakura.ne.jp)でお届けしています。

しかし、最近このMLが届かないという方が増えてきました。多くの場合、迷惑メールとして処理されてしまうようです。お手数ですが、迷惑メールボックスなどをチェックして、受信箱に戻すか、「迷惑メールではない」をクリックしていただきたく、お願いいたします。

また、会からのMLが不要の方、アドレスの変更や新たな登録を希望される方は、1pyodekaeru@gmail.com までお知らせ下さいますよう、お願いいたします。



て「女性の話をしよう」

フラワーデモがはじまった
2019年4月11日、600人近くの
女性たちが東京駅前に集まった。あ
いつぐ性犯罪無罪判決に憤る私たち
の声を「感情的だ」「冷静になれ」「法
律を学べ」：などと押し込める力に
「もう黙らない」と、私たちは声を
上げたのだ。／女の痛みを女たちが
語りはじめたあの夜、私たちの言葉



が、この国の#MeToo #WithYou
運動を大きな炎にした。／国際女性
デーは20世紀前半、女たちの抵抗か
らはじまった。／長い間、地球上の
多くの国で女として生きることは、
暴力と差別と貧困のリスクに晒され
ることだった。／その痛みは、未だ
に過去のものではない。／女たちは
今も殺され続けている。／地球上で
毎日130人以上の女性と女児が女
であるために殺さ
れている。／その
半数以上は家庭内
で殺されている。
／コロナ禍にフェ
ミサイドの被害者
は激増したが、明
らかにった被害

は氷山の一角である……

3月7日
：パリのエッフェル塔は改正案可決を
祝って点灯され、「私の身体、私の選択」
というメッセージが映された：



フランスが中絶権を憲法に明記へ
世界初—BBCニュース 3月5日
フランス議会は4日、憲法に女性
が人工妊娠中絶を選ぶ自由を含める
改正案を可決した。憲法に中絶権が
明記されるのは、世界で初めて：議
会はこの日、1958年制定の憲法
に女性の「保障された自由」とし
て中絶を明記する改正案について
投票。賛成780票、反対72票の圧
倒的多数で可決すると、議員らはス
タンディングオベーションで結果を
歓迎した。また、首都パリのエッ
フェル塔は改正
案可決を祝って
点灯され、「私
の身体、私の選
択」というメッ
セージが映され
た……

3月2日

素晴らしい！ 五ノ井里奈さんのXが
ら。



アメリカ国務省が
発表した2040年
「国際勇気ある女性
賞」に選ばれました

2月26日

24967人の賛同を得て、市役所と
市議会に提出
Change.org



広島市と広島市議
会はパレスチナの
ために行動して下
さい…今こそ「国
際平和文化都市」
が行動すべき時で
す！ 広島パレス
チナともしび連帯

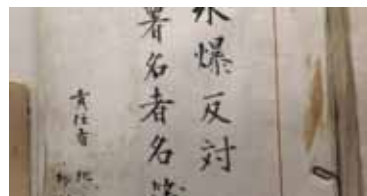
共同体

2月25日

語り継がねば、第五福竜丸被ばく
70年・上 偏見の歴史若者に 乗
組員23人被ばく—中日新聞しずおか

Web 2月20日

焼津市のマグロ
はえ縄漁船「第五
福竜丸」が、太平
洋ビキニ環礁での
米国の水爆実験で
被ばくしてから、
3月1日で70年と



なる。証言してきた元乗組員は、こ
の10年ほどで相次いで亡くなった。
痛ましい被ばくの事実の継承が課題
となる中、今も市民や団体が語り継
いでいる……

2月22日

東京都はスクールカウンセラーの大
量の雇い止めを撤回してください！
Change.org

長年働いてきた東京都公立学校の
スクールカウンセラーが、2024
年3月で大量に雇い止めされます。
心理職ユニオンの調査では、東京都
公立学校で働いていたスクールカウ
ンセラーのうち、25.5%（179
人）が雇い止めとなることが明らか
になりました。4人に1人以上が雇
い止めとなっているのであり、心理
職ユニオンにも相談が殺到していま

す……

2月20日

仁藤夢乃さんのFBから

能登半島地震、ボランティアの数すくなく自粛や「SNSでたたかれる」萎縮する人も 1カ月で2739人、阪神・淡路は62万人



Colaboの能登の被災地での活動でも全く同じことを感じました。行政が管理的になればなるほど、きめ細やかな支援はできず、被災者の支援ニーズもないものとされ、必要な人に必要なサポートがありません。人の手が圧倒的に足りていませんが、行政は必要なものは足りていると堂々と言ったり、物資は集積所に置いておいてくれたらこちらで配ると言ったりしています。そもそもボランティアが被災地に入るのに行政の許可が必要と市民が思

わされている状況が異常ですし、県知事の「来るな」という発信により萎縮したり主体性や自発性を奪われていることに危機感を持っています……SNSで攻撃されることへの怯えが個人にも民間にも行政にもあると思います……

2月19日

仁藤夢乃さんのFBから

「虐待や性被害などにあつた女性を支援するColaboへの中傷をブログに書き込んだとして、警視庁は自称ユーザーの男性(41)を名誉毀損(ぎそん)の疑いで書類送検した」「送検は15日付。捜査関係者によると、男性は「暇空茜」の名前で活動している……」(朝日新聞デジタルの記事)

2月12日

オンラインシンポジウム

ガザ地区の即時停戦を—Stop the

War—youtube.com

アーカイブ配信を視聴できます。

【概要】「学者の会」と「中東研究者有志」で送るオンラインシンポジウム。【日時】2月12日 13:00-16:00

〇〇【主催】学者の会【協力】中東

研究者有志【配信協力】CLP

プログラム(予定)第一部 報告

酒井啓子(千葉大学教授・中東政治

学/国際関係論)『ガザ攻撃から見

る中東・国際政治が抱える問題』白

杵陽(日本女子大学教授・パレス

チナ研究)『改めてハマースを考え

る』鶴飼哲(一橋大学名誉教授・

フランス哲学/パレスチナ研究)

『イスラエル/パレスチナ紛争と欧

米社会のレイシズム』栗田禎子(千

葉大学教授・中東現代史)『ガザ危

機と世界・日本の岐路』第二部 パ

ネルデイスカッ

ション 報告者+

石田英敬(東京

大学名誉教授)

★訂正とお詫び

54号に次の誤りがありました。以下のよう訂正してお詫びいたします。なおネット版については訂正済みです。

「寄稿 言論・出版の自由はどこへ

KADOKAWA 出版中止問題に考える」

5頁 4段目後ろから6行目 「トラ

ンスへの渴望」↓「トランスヘ

の渴望」

同 4段目後ろから4行目 「集団感

染」↓「集団感染」

6頁 1段目6行目 医療業界の間に

も」迫っている ↓ 医療業界

の間にも迫っている」

同 2段目最終行 二〇二三年一二

月二七日 ↓ 二〇二四年一月

二二日